

総合病院、かかりつけ医 大半が休診

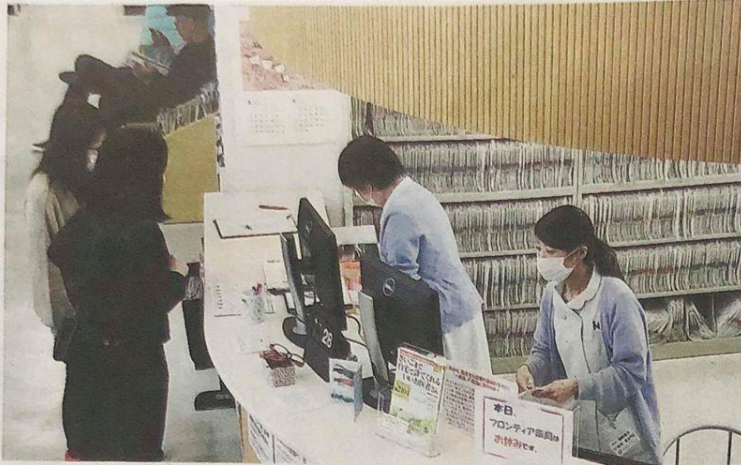
患者集中 人員増でも大忙し

10連休を歩く 4/28

丸1日ポ 2日目

史上初の10連休は28日、2日目を迎えた。兵庫県内でも多くの総合病院やかかりつけ診療所が休診する中、人員態勢を整えて患者を受け入れる医療機関がある。この日は大きな混乱はなかったが、陽気に戻る5月に入ると人の動きはさらに活発になりそう。「10連休全体でどれだけの人がやってくるか読めない」。各医療機関は受診の動向に神経をとがらせる。

(竹本拓也)



かかりつけ医が休診のため、初診の患者の姿も目立った「長尾クリニック」の待合室。28日午前、尼崎市昭和通7-

午前10時半、尼崎市の「長尾クリニック」。待合室に尾クリニク」のスタッフが待機している。近くで居酒屋を経営する女性(48)は2週間せきが止まらず訪れた。「市販の薬が効かず、病院の薬が欲しくて」。待ち時間は1時間を超えたが「10連休やし、仕方ないやん」と理解を示した。

この日は医師や看護師ら計10人が出勤。一般外来53人の診察と在宅患者のみとらなど担当だった。

普段から日曜祝日も診療することで行われる同クリニック。それでも今年10連休の印象が強過ぎるせい

か「休診と思いついて、受診を控える人もいるんです」と広報担当の港谷泰之さん。

連休明けの7日は「反発表を控え、今から猛練

午前10時半、尼崎市の「長尾クリニック」の待合室。スタッフが待機している。

午後10時半、尼崎市の「長尾クリニック」の待合室。スタッフが待機している。

午後10時半、尼崎市の「長尾クリニック」の待合室。スタッフが待機している。

午後10時半、尼崎市の「長尾クリニック」の待合室。スタッフが待機している。

午後10時半、尼崎市の「長尾クリニック」の待合室。スタッフが待機している。

歯科医ら9人フル稼働 ■ 2時間で救急車8台



患者の応急処置に当たる当番の歯科医。28日午後、神戸市中央区三宮町2、市歯科医師会付属歯科診療所

習するそう。

中のタックルでの負傷。

この日、歯科医師3人で26人の応急処置をした。市歯科医師会によると、連休中は海外出国前に訪れる人のほか、まれに神戸港に寄港中の外国人船員も訪れた。同病院では専門医のほ

るといい、杉村知行常務理事は「後半は受診者が増える」とみる。病気の種類や重症度を問わず受け入れる神戸・ポーツアイランドの市立医療センター中央市民病院も繁忙を極めた。自転車の転倒、やけど、アメフトプレー

い」と気を引き締める。

緊急時のみ受診を

連休中の対応について、各医療機関は「本当に受診が必要な患者のため、緊急性の低い症状は連休明けに受診を」と呼び掛ける。神戸市には相談ダイヤル「救急電話相談」(7-119)があり、年中無休で24時間対応。県が開設する子ども向けの「医療電話相談」(8-0000)は、5月7日午前8時まで受け付けている。